

問1 伊能忠敬が17年の歳月をかけて全国の海岸線や北方地域を調査し、実測に基づいて作成した、日本初と言える精密な地図の名称として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 大日本沿海輿地全図 2. 坤輿万国全図 3. 海国図志 4. 天下図

問2 室町時代から江戸時代にかけての文化の担い手や特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 慈照寺の銀閣に代表される文化は、禅宗の影響を受けて簡素で気品ある特色を持ち、後の日本人の生活様式の源流となった。
2. 姫路城のような壮大な城郭建築は、鎖国によって海外との交流が断絶したため、純和風の技術のみで江戸時代末期に完成した。
3. 見返り美人図に代表される浮世絵は、公家や僧侶が日常の礼儀作法を学ぶための手本として、室町時代に広く普及した。
4. 慈照寺の銀閣、姫路城、見返り美人図は、すべて足利将軍家が文化の振興を目的に国費を投じて製作させたものである。

問3 18世紀前半、江戸幕府の第8代将軍である徳川吉宗が享保の改革において制定した、裁判や刑罰の基準となる法典の名称を次の中から選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 御成敗式目 2. 武家諸法度 3. 公事方御定書 4. 五箇条の御誓文

問4 江戸時代に作成された、現代の地図と比較しても海岸線の形状が遜色ないほど正確に描かれた『大日本沿海輿地全図』の作成方法とその特徴について、正しい説明を選んでください。（2023年 富山公立入試 類似）

1. 伊能忠敬が実際に日本全国を歩き、歩幅による距離測定や天体観測などの測量技術を駆使して作成した。
2. シーボルトなどの外国人が持ち込んだ最新の測量器具を用い、幕府の役人が短期間で全国を回って完成させた。
3. 各地の諸藩が提出した絵図を幕府が整理・統合し、想像で海岸線の輪郭を補うことで作成された。
4. 空から見下ろしたような視点を再現するため、熱気球を利用した測量によって広範囲の地形を一度に記録した。

問5 近世の歴史の流れにおいて、江戸幕府は当初ヨーロッパとの貿易を認めていましたが、次第に貿易統制を強め、キリスト教の禁止を徹底する方針へと転換しました。幕府がこのような方針をとった理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 岡山公立入試 類似）

1. 貿易の利益を幕府が独占するとともに、キリスト教の教えが幕府の支配体制を揺るがすことを恐れたため
2. キリスト教を国教として採用するために、国内の仏教勢力を抑え込んで貿易を円滑に進めるため
3. ヨーロッパ諸国との外交関係を完全に断絶し、自給自足の経済を確立して鎖国を完成させるため
4. 幕府の権威を高めるため、キリスト教の教えを政治の基本方針に取り入れようとしたため

問6 18世紀後半の江戸幕府において、商工業者の同業者組織である「株仲間」を積極的に公認し、彼らから徴収する税によって幕府財政の立て直しを試みた老中は誰ですか。（2017年 岐阜公立入試 類似）

1. 田沼意次 2. 松平定信 3. 水野忠邦 4. 徳川吉宗

問7 江戸幕府がポルトガル船の来航を禁止したあとも、長崎での貿易を継続することを認めた相手の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. オランダと中国（清） 2. イギリスとスペイン 3. アメリカとロシア 4. 朝鮮と琉球

問8 中世に結成された「座」や、江戸時代に発展した「株仲間」は、いずれも当時の権力者と結びつくことで活動を維持していました。これらの組織に共通する仕組みとして正しい説明を選んでください。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 権力者に対して税を納める代わりに、特定の業種における営業上の独占的な特権を認められた。
2. 自由な経済活動を促進するため、権力者の許可を得ずに市場での価格競争を自由に行った。
3. 海外との貿易を円滑にするため、幕府から直接資金援助を受けて運営された国立の組織である。
4. 農村の家内工業を保護するため、問屋が生産者に道具や原料を貸し出す仕組みを管理した。

問9 江戸幕府が初期に行っていた外交政策に関する説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この政策においては、幕府から許可を受けた者が収入の一部を納める仕組みも存在していました。（2024年 富山公立入試 類似）

1. 幕府が大名や豪商に海外渡航を許可する証書を与え、東南アジア諸国との貿易を奨励した。
2. 明との貿易において、正式な貿易船と海賊（倭寇）を区別するために、勘合と呼ばれる割印の札を用いた。
3. 長崎の出島にオランダ商館を設置し、中国やオランダとの貿易を幕府が独占的に管理した。
4. 豊臣秀吉がキリスト教の布教を制限するためにバテレン追放令を出し、ヨーロッパとの交流を厳格に制限した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大日本沿海輿地全図	伊能忠敬が中心となって作成した地図は『大日本沿海輿地全図』と呼ばれます。それまでの地図が想像や古い資料に基づいたものであったのに対し、天体観測と歩幅などを用いた実測によって作られた点が画期的でした。この地図の完成により、日本の正確な姿が初めて明らかになりました。
問2	答え 1 慈照寺の銀閣に代表される文化は、禅宗の影響を受けて簡素で気品ある特色を持ち、後の日本人の生活様式の源流となった。	室町時代の東山文化では、書院造や茶の湯、生け花など、現代の和風生活につながる文化が、禅宗の精神を背景として武士や公家の間に広まりました。姫路城は桃山文化の特色である豪華さを持ち、安土桃山時代から江戸初期にかけて整備されたものです。見返り美人図は江戸時代の町人文化から生まれた作品であり、公家や僧侶のためのものではありません。また、これらの文化財は時代ごとの担い手（将軍、戦国大名、町人）が異なるため、すべてが将軍家によるものではありません。
問3	答え 3 公事方御定書	徳川吉宗は、それまで各奉行の裁量に任されていた部分が大きかった裁判や刑罰に明確な基準を設けるため、この法典を整備しました。これにより、裁判の迅速化と公正化が図られるようになりました。
問4	答え 1 伊能忠敬が実際に日本全国を歩き、歩幅による距離測定や天体観測などの測量技術を駆使して作成した。	伊能忠敬は55歳から測量を始め、約17年間かけて全国を歩いて測量を行いました。一步の長さを一定に保つ歩測や、方位を測る器具、天体観測による緯度の測定などを組み合わせることで、当時の水準をはるかに超える正確な実測図を完成させました。この地図は、その精巧さゆえに幕府によって「禁制品」として厳重に管理されていましたが、幕末には国防や外交において重要な役割を果たすことになりました。
問5	答え 1 貿易の利益を幕府が独占するとともに、キリスト教の教えが幕府の支配体制を揺るがすことを恐れたため	江戸幕府は、西国の大名が貿易によって経済的・軍事的に強大化することを警戒しました。また、キリスト教の「神の前では平等である」という教えや、信仰のために領主への忠誠を拒む可能性が、封建的な主従関係に基づく幕府の支配にとって脅威になると判断したことが背景にあります。
問6	答え 1 田沼意次	江戸時代中期の幕政を主導したこの人物は、従来の農業依存の財政から脱却し、貨幣経済の発展を背景とした商業重視の政策を展開しました。株仲間の結成を奨励して独占的な営業権を与える代わりに、運上（うんじょう）や冥加（みょうが）といった税を徴収したほか、長崎貿易での輸出拡大や印旛沼の干拓など、先駆的な政策を次々と打ち出しました。
問7	答え 1 オランダと中国（清）	ポルトガル船を排除したあとも、幕府はすべての海外貿易を止めたわけではありませんでした。キリスト教の布教を行わないことを条件にオランダとの取引を継続し、また正式な国交はなかったものの、中国（清）との民間貿易も長崎で行わせました。オランダ人は出島に、中国人はのちに設置された唐人屋敷に居住が制限されました。
問8	答え 1 権力者に対して税を納める代わりに、特定の業種における営業上の独占的な特権を認められた。	中世の座は貴族や寺社などの権門に対して、近世の株仲間は幕府や藩に対して、それぞれ税（運上や冥加）を納める構造になっていました。その対価として、非組織員の営業を排除する「独占権」を保証されるという、権力者と商工業者の双方向の利益関係に基づいた仕組みがとられていました。
問9	答え 1 幕府が大名や豪商に海外渡航を許可する証書を与え、東南アジア諸国との貿易を奨励した。	徳川家康による朱印船貿易は、特定の有力な大名や豪商に特権的な貿易の権利を与えるものでした。これにより、幕府は海外情報を収集し、貿易を通じて国内経済の安定を図る目的がありました。選択肢にある勘合を用いた貿易は室町時代の仕組みであり、出島での管理は後の「鎖国」体制下での出来事です。